



柱野小学校 「第2回 未来へ!しぎの『しあわせ総会』」地域合同熟議を開催

令和4年2月24日(木)柱野小学校で標記の総会が開催されました。児童数の減少と高齢化・後継者不足という学校と地域の課題解決に向けて、「元気をいつまでも～今できることは～」をテーマに行われましたので、その様子を紹介します。

上記の課題を解決するために、「児童の教育環境の整備や師木野地区住民の幸せな生活の確保」を目的とし、柱野小PTAや学校運営協議会が主体となって『柱野元気創出協議会』を組織。

【児童の主な取組】

- 自分たちの力で『自まんできる学校』づくりをする
- 学校アピール作戦(新聞掲載などで情報発信)
- 地域に元気を届ける(行事参加や発表会など)

【主なPTA活動】

- 「学校紹介」や「移住促進」ホームページ作成
- 児童受け入れ体制の推進及び継続協議
ー学校生活不適応(不登校やいじめ)児童の受け入れや里親制度の活用
- 師木野地区への移住の声かけ(放棄地や空き家活用、アパート誘致など)

【熟議当日の様子】

- 児童、保護者、学校運営協議会委員、自治会長、民生委員さんが参加



知らせるアイデア

○体験

- ・「道の駅」を誘致し、地元の人たちとの交流コーナーをつくり、絵になる場所を紹介したりする
- ・お店をつくり、来た人に「住んでみませんか」とポスター説明する
- ・修学旅行の宿泊地として、児童の家にホームステイしてもらう
- ・市長に現状を訴える

○ポスター、インターネットの活用

- ・柱野の地図や紹介ポスターを作り、インターネットにのせる
- ・蛍やカワセミなど柱野の珍しい生き物をアピールする
- ・柱野をアピールする歌をつくる
- ・LINEやFacebookなどでイベントや住む場所の案内をする
- ・SNSの活用
- ・インスタやYouTubeのアカウント開設し、柱野の自然や学校のよさ(柱野太鼓など)を発信する
- ・フォトコンに出品し、知ってもらう

住む場所アイデア

○空き家の活用(空き家復活大作戦)

- ・空き家状況を確認し、修理費などを市に相談する
- ・ボランティアデーを企画し、みんなできれいに掃除する
- ・地域の人で協力して修繕する
- ・クラウドファンディングで資金を募って空き家修繕費用にあてる

○みんなが集まるアイデア

- ・誰でも気軽に過ごせる「交流館」をつくり、子どもたちも楽しく遊べる場所にする
- ・昔の柱野のことがわかる資料館などをつくる
- ・「いろんな家がありますよ」と来た人に紹介する

○環境アイデア

- ・環境美化運動で川をきれいにする
- ・井戸水を水道水にかえてから、アパートをつくる
- ・アパートをつくって人が来て住めるようにする

その他アイデア

○イベント

- ・自然を生かした物、道具を作り、他の地域の人に体験してもらう
- ・竹の子掘りや山登り、魚釣りや鳥観察、星の観測会などの自然体験や虫祭り、スポーツ枕投げなど誰でも参加できるイベント企画

○きれいな自然

- ・柱野駅の桜を元のように増やす
- ・昔の川プールを復活させる
- ・汚れている場所はみんなできれいにして、自然を使った遊び場をつくる
- ・虫や生き物も増やす
- ・桜の木を植える 腐葉土をつくる

○人とのふれあい

- ・長く生きている人の話を聞く
- ・六呂師や叶木地区の話題も入れる
- ・河内や杭名からバス通学してもらう
- ・地域活性化が出来た所の話を聞く

○柱野のよさ

- ・原田侑子さんに手伝ってもらう
- ・アイ・キャンを活用する

周東中学校区 6小学校、1中学校で「周東地域協育ネット準備委員会」開催！

令和4年2月24日（木）周東勤労青少年ホームを会場に標記の委員会が行われましたので、その様子を紹介します。

高森小、周北小、米川小、修成小、そお小、川上小の6小学校と周東中の児童生徒、教職員、学校運営協議会委員等地域の方々、行政・協力団体の61名が一堂に会し、「周東町の未来を語ろう！」をテーマに7つのグループに分かれて熟議を行いました。



周東中 学校運営協議会
繁澤会長あいさつ



熟議の進め方について
岩国市教委 田中社教主事



熟議の様子



各グループの話し合いの結果を発表



【一例】

